

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	35	学 校 名	静岡城北高等学校	校 長 名	渡 辺 賢 一
------	----	-------	----------	-------	---------

1 スクール・ミッション

グローバル教育を推進する普通科・グローバル科併置の伝統校として、広い視野で地域の課題を発見し解決する探究活動を通して、将来の Shizuoka を支え、行動する人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
1 思いやりがあり、社会を支える一員として自律した行動が取れる人	1 探究的な問いを充実し、多様な人々と協働して問題解決に向かう「授業」	1 主体的・協働的に学ぼうとする意欲のある者
2 自分の目標や課題を見いだし、失敗をおそれずに取り組む人	2 「地域の人々に笑顔を届けよう」をテーマに地域の課題を理解し、解決方法を探る「城北スマイルプロジェクト」	2 「高き希望（のぞみ）」を持ち、自己実現を目指す者
3 課題の解決に向け、自他の考えを吟味して、解決策を提示できる人	3 生徒の自律的な態度を育て、自己肯定感を高める「学校行事・生徒会活動・部活動」	3 グローバルな舞台で多様な人々と関わるための英語力を身に付けたい者

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 生徒が主体的に自律した行動が取れるよう、生徒の行動をポジティブ・フォーカスで捉え、勇気づけのボイス・シャワーにより、自己有用感を感じ、自己肯定感を高められる教育活動を推進します。

イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教師による「授業改善」及び生徒による「学習改善」を充実します。

ウ ICT を積極的に活用した教育活動を実現します。特に生徒が主体的に ICT を使う場면을創出します。

エ 城北スマイルプロジェクトやグローバル科の行事を通して、地域やグローバルな舞台で活躍する人々と積極的に交流します。

オ 世界中の様々な人々と協働していく力を身に付けるための英語授業を展開します。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組 目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
つな が る 力	○自己肯定感・自己効力感の醸成 - 様々な場面で生徒に役割や主体的に行動する機会を与える - ポジティブ・フォーカスによる勇気づけ ○協働の原則を意識する - 教員による挨拶の率先垂範 - 様々な場面で生徒に協働、表現する機会を与える ○対話による生徒指導 - 生徒心得の浸透 - 学年集会等 - 人権教育の推進	- 生徒を承認し励ますボイス・シャワーを実践する教員 95% - 学校生活で自分に自信を持てたことがあった生徒 80% - 積極的に挨拶できる生徒 90% - 多様な価値を認め、友人と協力し合う関係を築けた生徒 95% - 自分の考えを説明し表現する力が身についた生徒 85% - ルールやマナーを守っている生徒 100% - 交通事故件数、交通違反者数が前年度より減少 - いじめ認知件数はゼロ、問題行動が前年度より減少	学年、教科、分掌 学年、教科、分掌 学年、生徒 学年、教科、分掌 学年、教科、分掌 生徒、学年 生徒、学年 生徒、学年
み つ け る 力	○自己効力感（自分の強みを知り、自分ならできると思える）に基づく目標設定指導 - 進路シラバス見直し - 多様な選抜方法への組織的対応 - 類型・科目選択指導 - 大学出張講座、進路講話等の進路行事の実施 - 放課後講習等の実施 - 低学年からの高い志の育成 - 大学等公開授業、オープンキャンパス - 総合的な探究の時間と進路指導の連携 - スタディサポート（学びの基礎診断） ○探究活動を通し、課題を発見し解決していくための資質・能力の育成	3年間を見通した進路指導ができていると感じる教員 70% - 生徒の実情に応じて適切な進路先や選抜方法を助言できた教員の割合 95% - 納得のいく類型、科目選択、進路選択ができた生徒 90% - 志望分野が決定した1年生徒 80% - オープンキャンパス等に参加した2・3年生徒 80% - 総合的な探究の時間が、進路目標（志望学部）の具体化に役立ったと感じる3年生徒 80% - 探究活動を通して、自分自身や社会の課題に気づき、改善または解決策に関心を持った生徒 75% - 探究活動の指導に積極的に取り組む教員 80%	進路、学年、教務 学年、進路 学年、進路 1 学年、進路 2・3 学年、進路 研修、進路、3 学年 研修、学年 研修、学年

取組
目標

行動する力

様式第 1 号

取組目標		達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
グローバル力	グローバル力	○Think Globally, Act Locally の実践 ・各授業 ・総合的な探究の時間 ・異文化体験研修やグローバルな交流事業等を活用したグローバル教育の推進 ・グローバル活動の普通科への波及 ○英語力の伸長	・地球上の様々な問題が、自分の生活に関係していることを意識している生徒 80% ・学んだことを生かし、地域社会の問題を解決したいと考える生徒 80% ・異文化体験研修等のグローバル教育活動がグローバルな視野の育成に役立ったグローバル科の生徒 90% ・グローバル活動に参加した普通科の生徒 100 人以上 ・卒業までに、CEFR B1（英検 2 級程度）取得生徒 グローバル科 100%、普通科 20% ・卒業までに、CEFR B2（英検準 1 級程度）取得生徒 グローバル科 15%	研修、教科 研修 グロ グロ、学年 英語科、グロ 英語科、グロ
		○心理的安全性の醸成 ・人権教育の推進 ・特別支援教育の普及と推進 ・通級指導の導入 ・生活アンケートの実施 ○危機管理 ・施設、設備の定期点検 ・コンプライアンスの徹底 ○業務改善 ・「やめる・へらす・かえる」の検討 ・外部人材の活用推進 ・校務への ICT 機器活用推進 ・総務事務の集約化と事務職員の校務参画モデル校事業の実施	・生徒に対する言葉遣い、呼称、授業の UD 化に配慮している教員 100% ・自己を大切に、他者の人権を尊重することができた生徒 90% ・課題を抱えた生徒を組織的に支援（ケース会議を含む）できていると感じる教員 80% ・自分の悩みや不安を打ちあける人や機会・場所がある生徒 90% ・施設、設備の不具合に起因する事故、けが 0 件 ・ヒヤリハット事例の共有 ・「危機等発生時対処要項」の追加更新 ・業務改善を実施した分掌・学年 100% ・業務の効率化を意識して業務にあたっている教職員 100%	全教職員 保健、学年 保健、生徒、学年 管理職、保健、生徒、学年 事務室 全教職員 総図、保健 全分掌、全教職員 事務室、管理職、分掌